

# EXERCISE 137

〔産科医としての基礎知識〕  
産科ショックの対応（原因，病態，処置）

**Q 688** 弛緩出血について正しいのはどれか。

- a) 子宮収縮剤投与で様子を見る
- b) ハロセンの使用例で起こしやすい
- c) 頸管裂傷を合併することはない
- d) 陣痛促進剤の使用例では弛緩出血を起こすことは少ない
- e) 墜落分娩では弛緩出血を起こすことはない

**Q 689** 子宮破裂について正しいのはどれか。

- a) 前回帝王切開例で陣痛促進剤使用は禁忌である
- b) 最も多い原因は前回帝王切開術の既往である
- c) 漿膜下筋腫の摘除術既往例でも分娩は帝王切開を選択する
- d) 完全子宮破裂では発生直後に児は死亡する
- e) 破裂部位は子宮底に多い

**Q 690** 敗血症性ショックについて正しいのはどれか。

- a) 起炎菌として最も多いのはグラム陽性球菌である
- b) 初期は高心拍出量性であるため血圧は上昇する
- c) 白血球数が低下することもある
- d) 感染病巣が確認されたらただちに外科的処置を行う
- e) warm shock であるため昇圧剤を使用することはない

**Q 691** 子宮内反症について正しいのはどれか。

- a) 出血量とショックの程度は一致する
- b) 多産婦では注意を要する
- c) 胎盤娩出前には起こらない
- d) すぐに開腹手術が必要である
- e) まず子宮収縮剤を投与する

**Q 692** 羊水塞栓症について正しいのはどれか。

- a) 陣痛発来前には起こらない
- b) 治療は肺塞栓(血栓)と同じである
- c) 初産婦には少ない
- d) 血中に羊水成分や胎脂が必ず検出される
- e) 自然軽快することがある